

四冠

2024. 3. 27

10年ほど前に、校長になった。最初は、奥会津の小学校だった。次は、高校だった。多少、びっくりした。反響が大きかった。そして、現在の中学校である。結果的に、小学校、中学校、高等学校を経験することができた。三冠達成である。珍しいパターンである。

こんな人は、なかなかいないだろうと思っていた。しかし、どうやら、いわきにいらっしやるとの話を耳にした。ならば、四冠を目指すしかない。幼稚園の園長である。半ば冗談で、そんなことを話していたことがある。もちろん、本気ではない。

ところが、人生はわからない。何が、どう転ぶかわからない。自分では、考えもしなかった方に、人生は動いていく。4月から、幼稚園の園長を務めることになった。これで、四冠達成である。さすがに、こんな人はいないだろう。自分にしかできないことでもある。

今までは、自分に選択肢がある人生ではなかった。自分の意思や希望とは関係なく、異動を繰り返してきた。だが、今回は、自分の目の前に、複数の道が用意された。以前から、本を読んだりして勉強してきたことがある。楽な道と辛い道、できそうな道とむずかしそうな道、安全な道と挑戦する道、いずれを選ぶべきか。あえていばらの道を選んだ方がよいと学んできた。ようやく、選ぶチャンスが訪れた。もうこの年齢であれば、できそうで楽な安全な道を選びそうなものである。それをせずに、辛くむずかしそうな挑戦の道を選ぶのである。自分に重荷を背負わせるかのごとくである。

今までとは違う世界に飛び込んだ方がおもしろい。当然、苦勞することは目に見えている。ドキドキ感や刺激が、自分を成長させてくれるかもしれない。そして、謙虚になれる。まわりの人に支えてもらわなければ、自分では前に進めない。感謝の気持ちもわいてくる。

4月からは、エキサイティングな日々が続くだろう。不安しかないが、おもしろそうである。きっと、毎日、クタクタになるに違いない。それでも、充実していることが重要である。今までの経験が、どれほど生かせるかは未知数である。校種は違っても、教育の場であることには変わりはない。大事なものは、人の心であろう。

4つの校種を経験した先にあるものは何か。それは、わからない。だが、何かが見えてくるような気がする。今まではわからなかったものがわかるような感触がある。いずれ、何かを待っているような期待感もある。人の人生はわからない。全く予想がつかない。とりあえず、目の前のことに精一杯取り組んでいこうと思う。“園長先生奮闘記”のスタートである。